

奈半利町ふるさと海岸をフル活用した地域振興

奈半利町みなと未来会議
一般社団法人 なはりの郷

高知県 奈半利町



1 社会資本の概要

奈半利町ふるさと海岸は、奈半利町東浜地区から六本松地区に位置する海岸線約1.4kmの港湾海岸であり、高潮対策として高知県が昭和62年に事業を開始した「奈半利町ふるさと海岸整備事業」により、平成20年に整備が完了しました。

ふるさと海岸整備事業は、海岸背後のまちづくりと一体となった良質で多面的な機能をもった海岸保全施設の整備を行うことにより、地域住民に親しま

れ、海辺とふれあえる美しい景観をもった安全で潤いある海岸空間の創出を図ることを目的としており、奈半利町ふるさと海岸では、砂浜が定着するよう離岸堤や階段型の護岸整備を行うとともに松の植栽や遊歩道も造られております。また、副次的な効果として離岸堤の背後にサンゴ礁が群生する現象も確認されるなど、地域の憩いの場となっております。



奈半利町ふるさと海岸



奈半利港全景

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

「奈半利町みなと未来会議」は、「ふるさと海岸」の活用方法を町内で議論する中で、設立に至った任意団体であり、毎年7月に行われる「ちびっこトライアスロン」の主催団体として、企画・運営を統括しています。「ちびっこトライアスロン」は、静穏な水域、傾斜護岸の天端部、緑地・遊歩道などの活用可能な要素を勘案し、住民から奈半利町に対し、地域振興及び交流人口の拡大にも繋がる提案から賛同を得て、平成22年に四国初のキッズトライアスロンとして誕生しました。

また、大会の開催に併せて、「ふるさと海岸」の

環境美化活動として、高知県及び奈半利町と協定を結んでいる企業や地元住民との協働により、清掃作業を競技開始前に実施しています。

さらに、自然資源を用いた環境学習やマリン体験活動などの促進を図るため、奈半利町が「奈半利町海浜センター（指定管理者：一般社団法人なはりの郷）」を整備し、サンゴ群礁を身近に眺め楽しむ、シュノーケリングやシーカヤックなどの各種マリンアクティビティの体験ができるプログラムの提供が行われています。



ちびっこトライアスロン(スイム)



グランピング



小学生総合学習(サンゴ移植)

3 活動の成果や波及効果等

「ちびっこトライアスロン」は、平成22年の第1回大会では参加者が54人でしたが、近年は高知県内・四国内にとどまらず、中国地方・関西圏・関東圏からの参加もあり、令和元年の第10回大会では149人まで拡大するに至っています。

町の課題でもあった「ふるさと海岸を利活用した交流人口」の拡大、知名度の向上とともに、開催時には町の職員や地元ボランティアをはじめ、地域住民が協力し合うことで地域内の交流も増え、地域への愛着心も強くなっています。

また、「ふるさと海岸」及び「奈半利町海浜センター」では、令和3年度から地元小学生の総合学習の場として、海岸清掃やサンゴ移植体験などを通じた森林環境に関する学習が行われるほか、地域住民が散歩の途中等に気軽に立ち寄れる休憩所となる東屋などの整備により、多くの人々が集まり、コミュニティの形成が図られる場所にもなっています。



ちびっこトライアスロン
参加者集合写真



マリンアクティビティ
(カヤック)



海岸清掃活動の様子



修学旅行受入の様子

喜びの声

受賞者



一般社団法人 なはりの郷
代表理事
竹崎 和伸

奈半利町みなと未来会議
会長
高橋 勝

コメント

景観の良いふるさと海岸を活用しようと始まったちびっこトライアスロン大会を通じて、地域振興や交流人口の拡大につながったことが評価されて大変嬉しく思っております。

今回の賞を授けられましたのも、活動に賛同していただいた地域の人々や企業の皆さまのおかげだと存じ、感謝しております。

賞を励みに、今後も活動していきたいと思っています。

活動の内容

- 地域振興及び交流人口に向けたちびっこトライアスロンの開催
- 海岸の環境美化活動

活動の経歴

- 平成15年 奈半利町みなと未来会議設立
- 平成22年 奈半利町ちびっこトライアスロンスタート
- 令和元年 第10回奈半利町ちびっこトライアスロン開催
- 令和3年 海の日四国地方整備局長賞 受賞

所在地

高知県安芸郡奈半利町

活動主体及び連絡先

奈半利町みなと未来会議
一般社団法人なはりの郷
TEL:0887-38-7775

対象となる社会資本

奈半利港海岸
※管理者:高知県

